

科目名	資格対策講座 2						年度	2025	
英語科目名	Qualification Prep Lecture 2						学期	後期	
学科・学年	コンサート・イベント科 1年次	必/選	選※	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	山本璃空	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロデューサー、メディアクリエイター		
【科目の目的】 ビジネス分野の検定試験に合格するための知識を習得する。その知識を検定試験の対策に活かすと同時に、日本社会の動向に興味を持ち、自身がどのような社会人になるかのビジョンを持つための視点を養う。									
【科目の概要】 ビジネス能力検定（B検）ジョブパス、JPPA映像音響処理技術者、Pro Tools、イベント検定、MOSなどの資格受験対策講座です。									
【到達目標】 自ら積極的に参加し、演習問題や演習実技をおこない本番でも十分対応できるスキルを身につける。資格試験に合格し仕事の領域を広げるとともに各々の可能性を高める。将来、広く業界で活躍できる人材となることを目標とする。									
【授業の注意点】 この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視するとともに、キャリア形成の観点から授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	当学科が推奨するビジネス分野1種類の検定試験に合格する程度の知見を取得する		当学科が推奨するビジネス分野1種類の試験範囲程度の知見を取得する		到達目標Aについてさらなる努力が必要				
到達目標 B	検定対策として学んだ知識を、2年生前期の学習の場に活かす視座を得る		検定対策として学んだ知識を説明できる		到達目標Bについてさらなる努力が必要				
到達目標 C	日本社会の動向に関心を持ち、2年生後期に向けて自分がどのような社会人になってゆくかのビジョンを持つ		2年生後期に向けて自分がどのような社会人になってゆくかのビジョンを持つ		到達目標Cについてさらなる努力が必要				
【教科書】 資格対策用プリント、各種資格検定対策本									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 *出席率、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 *ポイントをまとめた小テストを実施し理解を深める。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		資格対策講座 2			年度	2025
英語表記		Qualification Prep Lecture 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	第一課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1 資格対策とは	授業対象資格の意義がわかる	3	
			2 課題発表	第一課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
2	第一課題 実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
3	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
4	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
5	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
6	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
7	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第一課題をまとめ、発表する		
8	第二課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1 第一課題の振り返り	第一課題について振り返りができる	3	
			2 課題発表	第二課題の意義がわかる		
			3 課題理解	課題の内容を理解できる		
9	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
10	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
11	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
12	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
13	実践	現場を想定した体験	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3 課題練習	構造化した課題について練習を行う		
14	まとめ	応用方法を学ぶ	1 現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2 構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3 課題発表	第二課題をまとめ、発表する		
15	総合復習	復習の実践	1 第一課題の振り返り	第一課題を自分のものにできる	3	
			2 第二課題の振り返り	第二課題を自分のものにできる		
			3 資格取得の可能性	授業対象資格を取得することへの可能性を知る		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等